


# DVD・HP の映像の効果的活用

<p>学校名 黒松小学校 小学校4・5・6年版</p>	<p>氏名 村瀬 純子 単元名 地震を乗り越えようとした先人の知恵 P46～47 教科・領域名 総合 時間45分</p>	
<p>主な学習活動 (実際に行った活動)</p> <p><b>【ねらい】</b> 歴史的な遺産や地名などから、地震を乗り越えようとした先人の知恵や願いに気付かせる。</p> <p>1 宮城県が何度も大きな地震の被害にあってきたことを知る。 ・防災教材「勇気を持って」(P24～25)から日本列島では世界の地震の約10%が発生していること、副読本(P62～63)の年表から江戸時代以降宮城県で18回M7以上の地震が起きていることに気付く。</p> <div data-bbox="223 817 813 952" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>むかしの人々が地震を乗り越えようとした知恵や被害の大きさを後の世に伝えようとしたメッセージを見つけよう。</p> </div> <p>2 度重なる地震と戦ってきた仙台城の石垣について考える。 (1) 古い石垣が残っていた理由を考える。</p> <div data-bbox="223 1097 813 1142" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どうして古い石垣が残っていたのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの石垣の上に新しい石垣を作ればさらに頑丈になるから。</li> <li>・古い石も再利用することでより強い石垣になる。</li> </ul> <p>(2) 副読本のP46を読み、東日本大震災による仙台城の被害について知る。</p> <p>3 地震を乗り越えようとした先人の知恵を考える。 (1) 蛸薬師の名前の由来について知る。 (副読本P47) <b>※浪分神社の資料(副読本 中学校 P33)の活用</b> (2) 年表から「言い伝え」をさがす。(副読本P62-63) (3) 先人たちの思いを考える。</p> <div data-bbox="223 1612 813 1713" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どうしてこのようなメッセージを残したのか先人たちの思いを考えてみよう。</p> </div> <p>4 これからの学習について話し合う。 ・過去に仙台地方で起こった災害の様子を伝えるものをもっと調べたい。 ・わたしたちも東日本大震災のことを未来に向けてどのようにメッセージを残していきたいか考えたい。</p>	<p>指導の実際</p> <p><b>【準備物】</b>副読本・PC・テレビ・<b>防災教材「勇気を持って」(読売テレビ放送制作)</b>・仙台城の石垣の写真(現在・内部・被災時)</p>  <p>○現在の石垣の写真を見せ、内部がどうなっていると思うか考えさせた。過去の地震で何度も崩れていることを副読本 P62～63 の年表でつかませ、どのように乗り越えてきたのかメッセージが残されていることを伝えた。</p> <p>○<b>仙台市教育委員会文化財課のHP</b>の映像をテレビ画面で見せ、内部に古い石垣が残っていることを確かめた。</p> <div data-bbox="853 1388 1444 1915" style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px;"> <p><b>【先人たちの思い】(児童の考え)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もう二度と誰も犠牲にならないようにここまで津波がきたことが分かるように後世の人たちに伝えたくて地名を付けたのだと思う。</li> <li>・未来の人々の被害を少しでも減らし、安全で安心な生活をしてほしいという願いが込められていると思う。</li> <li>・繰り返し地震がやってくることは避けられない。だからこそ被害を少なくしていく努力をしながら、一日一日を大切に生きてほしいということを伝えたかったのだと思う。</li> </ul> </div> <p>○先人の思いを受け取り、自分たちも未来に向けてやれることがないか考えさせた。</p>	